

## 2024年度ダクタイトイル鉄管協会セミナーを開催しました

水道事業に関する最新の情報や先進事業者の事例を紹介するセミナーを毎年開催しており、今年度も下記日程・内容にて全国16会場で開催し、会場で1,510名、オンライン配信においても259団体にご参加いただきました。講演頂いた講師の方々にお礼申し上げます。

### 2024年度ダクタイトイル鉄管協会セミナー 一覧表《全16会場》（一部 web 配信）

支部	開催日・開催場所	講師	テーマ
北海道	9月5日(木) 札幌市	北海道大学教授 大学院工学研究院 環境工学部門・環境工学分野 石井 一英 氏	カーボンニュートラルと 環境関連施設管理
		名古屋市上下水道局 技術本部計画部 計画部長 渡部 健一 氏	名古屋市上下水道局の地震対策
東北	11月12日(火) 盛岡市 (web 併用)	横浜市水道局 配水部長 小西 孝之 氏	水道料金改定と管路更新
		千葉大学 大学院工学研究院 教授 丸山 喜久 氏	近年の自然災害時における ライフライン施設の機能支障
	11月26日(火) 仙台市	豊中市上下水道局 技術部浄水課 課長 中川 裕義 氏	豊中市における施設整備および維持管理
		東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 准教授 荒井 康裕 氏	水道管路システムの維持管理と IoT や AI 技術の活用
関東	8月5日(月) 新潟市	中央大学 理工学部 人間総合理工学科 教授 山村 寛 氏	GXとDXで創る健全な水循環による 水道の基礎強化
		盛岡市上下水道局 上下水道部 次長 山路 聡 氏	100年先の次世代へ安心して 引き継ぐために ～新時代に不可欠な積極性を鍛える～
	9月19日(木) さいたま市	大阪広域水道企業団 南部水道事業所長 田村 武志 氏	大阪広域水道企業団における 広域化(統合)の取組みについて
		東京都立大学 都市環境学部 特任教授・名誉教授 水道システム研究センター長 小泉 明 氏	水道管路に特化した 産官学共同研究
	11月13日(水) 千葉市	香川県広域水道企業団 計画課 課長補佐 遠藤 智義 氏	香川県広域水道企業団における 広域連携の取組みについて
		東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 准教授 荒井 康裕 氏	水道管路システムの維持管理と IoT や AI 技術の活用

**札幌会場**（9月5日開催）会場 68名が参加



北海道大学教授 大学院工学研究院 環境工学部門・環境工学分野  
石井 一英氏



名古屋市上下水道局 技術本部計画部 計画部長  
渡部 健一氏



会場風景

**盛岡会場**（11月12日開催）会場 34名、オンライン配信で31団体が参加



横浜市水道局 配水部長  
小西 孝之氏



千葉大学 大学院工学研究院 教授  
丸山 喜久氏



会場風景

**仙台会場**（11月26日開催）会場 43名が参加



豊中市上下水道局 技術部浄水課 課長  
中川 裕義氏



東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 准教授  
荒井 康裕氏



会場風景

**新潟会場**（8月5日開催）会場 78名が参加



中央大学 理工学部 人間総合理工学科 教授  
山村 寛氏



盛岡市上下水道局 上下水道部 次長  
山路 聡氏



会場風景

**さいたま会場**（9月19日開催）会場 100名が参加



大阪広域水道企業団 南部水道事業所長  
田村 武志氏



東京都立大学 都市環境学部 特任教授・名誉教授  
小泉 明氏



会場風景

**千葉会場**（11月13日開催）会場 146名が参加



香川県広域水道企業団 計画課 課長補佐  
遠藤 智義氏



東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 准教授  
荒井 康裕氏



会場風景

## 2024年度ダクタイトイル鉄管協会セミナー 一覧表《全16会場》（一部 web 配信）

支部	開催日・開催場所	講師	テーマ
関東	12月6日(金) 横浜市	山梨県富士山科学研究所 所長 藤井 敏嗣 氏	富士山噴火に備える
		兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授 阪本 真由美 氏	火山との共生をめざして 一災害時の自助・共助・公助
	1月23日(木) 静岡市	埼玉県企業局 水道企画課 副課長 片岡 広成 氏	水道用水供給事業における 料金改定について
		環境省 大臣官房 サイバーセキュリティー・情報化審議官 熊谷 和哉 氏	水道事業の現在位置と将来 第四世代の創生へ
	2月17日(月) 東京都 (web 開催)	国土交通省 水管理・国土保全局 上下水道審議官グループ 水道事業課長 筒井 誠二 氏	水道行政の最近の動向について
		東京都市大学 建築都市デザイン学部都市工学科 教授 長岡 裕 氏	脱炭素社会に向けて 水道事業に求められる対応と社会的な貢献
中部	11月28日(木) 名古屋市	札幌市水道局 給水部長 住友 寛明 氏	札幌の水道システムと災害対策について
		岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授 能島 暢呂 氏	能登半島地震における ライフライン被害・復旧の教訓と課題
関西	1月24日(金) 大阪市	一橋大学 国際公共政策大学院 客員教授 土木學會 インフラファイナンス研究 小委員長 安間 匡明 氏	官民連携 (PPP) 事業における 信頼の設計
		岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授 能島 暢呂 氏	能登半島地震における ライフライン被害・復旧の教訓と課題
	10月30日(水) 和歌山市	金沢大学 名誉教授 宮島 昌克 氏	2024年能登半島地震における 水道被害とその教訓
		日本水道協会 総務課 課長補佐 (総合調整係長) 二宗 史憲 氏	水道における災害対応 ～能登半島地震における対応を踏まえて～
関西・ 中国四国 共催	9月3日(火) 松山市	金沢大学 名誉教授 宮島 昌克 氏	2024年能登半島地震における 水道被害とその教訓
		千葉県企業局 水道部 次長 密本 恒之 氏	千葉県企業局における災害対応 ～東日本大震災での被災経験から 能登半島地震への応援活動まで～

### 横浜会場（12月6日開催）会場 155名が参加



山梨県富士山科学研究所 所長  
藤井 敏嗣 氏



兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授  
阪本 真由美 氏



会場風景

**静岡会場**（1月23日開催）会場 33名が参加



埼玉県企業局 水道企画課 副課長  
片岡 広成 氏



環境省 大臣官房 サイバーセキュリティ・情報化審議官  
熊谷 和哉 氏



会場風景

**東京会場**（2月17日開催）オンライン配信で 228 団体が参加



国土交通省 水管理・国土保全局 上下水道審議官グループ 水道事業課長  
筒井 誠二 氏



東京都市大学 建築都市デザイン学部都市工学科 教授  
長岡 裕 氏



会場風景

**名古屋会場**（11月28日開催）会場 73名が参加



札幌市水道局 給水部長  
住友 寛明 氏



岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授  
能島 暢呂 氏



会場風景

**大阪会場**（1月24日開催）会場 136名が参加



一橋大学 国際公共政策大学院 客員教授 土木學會 インフラファイナンス研究 小委員長  
安間 匡明 氏



岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授  
能島 暢呂 氏



会場風景

**和歌山会場**（10月30日開催）会場 77名が参加



金沢大学 名誉教授  
宮島 昌克 氏



日本水道協会 総務課 課長補佐(総合調整係長)  
二宗 史憲 氏



会場風景

**松山会場**（9月3日開催）会場 81名が参加



金沢大学 名誉教授  
宮島 昌克 氏



千葉県企業局 水道部 次長  
密本 恒之 氏



会場風景

## 2024年度ダクタイトイル鉄管協会セミナー 一覧表《全16会場》(一部 web 配信)

支部	開催日・開催場所	講師	テーマ
中国 四国	11月19日(火) 広島市	名古屋大学減災連携研究センター 准教授 平山 修久 氏	能登半島地震から考える これからの水道の災害対策
		日本水道協会 総務課 課長補佐 (総合調整係長) 二宗 史憲 氏	水道における災害対応 ～日本水道協会における共助の枠組み～
九州	10月28日(月) 福岡市	一橋大学 国際公共政策大学院 客員教授 土木學會 インフラファイナンス研究 小委員長 安間 匡明 氏	官民連携 (PPP) 事業における 信頼の設計
		横浜市水道局 配水部長 小西 孝之 氏	水道料金改定と管路更新
	11月21日(木) 那覇市	筑波大学 システム情報系 教授 庄司 学 氏	巨大地震災害における 水道施設の被害の諸相とレジリエンス ～2024年能登半島地震災害から学ぶべきこと～
		会津若松市上下水道局 主幹 遠藤 利哉 氏	水道インフラへの新技術の活用事例 ～会津若松水道 DX の取組～

### 広島会場 (11月19日開催) 会場 118名が参加



名古屋大学減災連携研究センター 准教授  
平山 修久 氏



日本水道協会 総務課 課長補佐(総合調整係長)  
二宗 史憲 氏



会場風景

### 福岡会場 (10月28日開催) 会場 112名が参加



一橋大学 国際公共政策大学院 客員教授 土木學會 インフラファイナンス研究 小委員長  
安間 匡明 氏



横浜市水道局 配水部長  
小西 孝之 氏



会場風景

### 那覇会場 (11月21日開催) 会場 43名が参加



筑波大学 システム情報系 教授  
庄司 学 氏



会津若松市上下水道局 主幹  
遠藤 利哉 氏

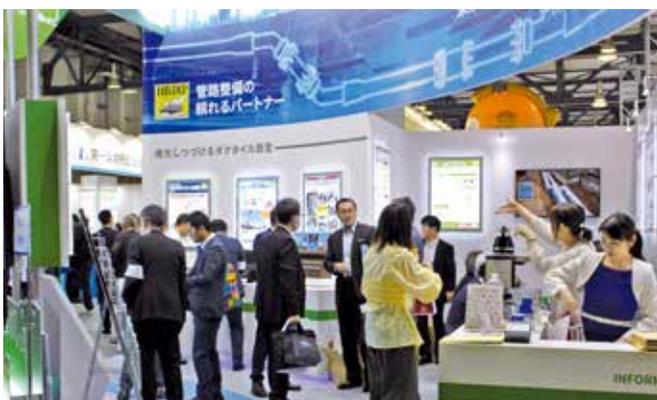
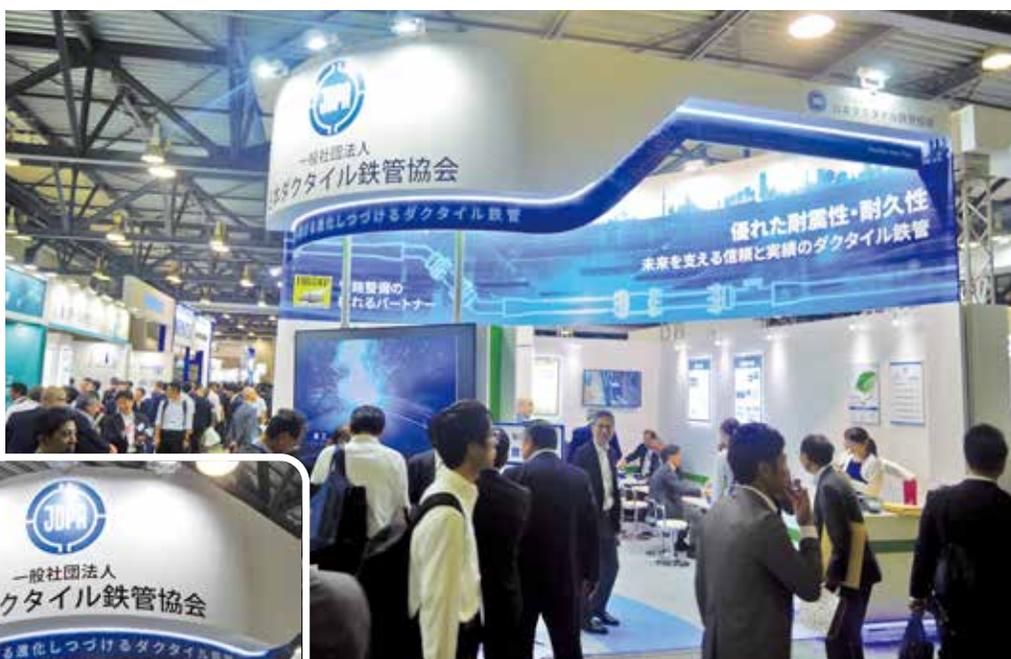


会場風景

## 神戸水道展に出展しました。

日本ダクタイル鉄管協会では、2024年10月9日～11日まで開催された「2024神戸水道展」において、ブースを出展しました。今回の水道展は来場者が14,836名となり、前回（東京）の来場者数を大きく上回り、大盛況の展示会となりました。

ブースのコンセプトは、開催地である神戸をモチーフに趣向を凝らしたデザインとし、GX形管やS50形管のカットサンプル、耐震手動模型などの実機を展示しました。さらに、パネル展示や大型モニターによる動画放映などで、水道界における課題解決のヒントとなる当協会ならではの取り組みをご紹介します、多くの来場者にダクタイル鉄管をPRすることができました。



### 技術資料 総合編

資料名	型番	更新日
ダクタイトイル鉄管 布設工事標準マニュアル	T01	2024年4月
ダクタイトイル鉄管管路 設計と施工	T23	2024年4月
ダクタイトイル鉄管管路のてびき	T26	2024年9月
ICTを活用したダクタイトイル鉄管管路の施工管理	T100	2025年1月



▲  
データは  
こちら

### 技術資料 耐震継手設計編

資料名	型番	更新日
GX形ダクタイトイル鉄管管路の設計	T57	2025年3月
GX形ダクタイトイル鉄管 呼び径500～1000	T65	2025年3月
NS形・S形ダクタイトイル鉄管管路の設計	T35	2025年3月



▲  
データは  
こちら

### 技術資料 特殊工法編

資料名	型番	更新日
ダクタイトイル鉄管による推進工法	T33	2025年3月



▲  
データは  
こちら

### 技術資料 農業用水編・下水道編

資料名	型番	更新日
下水道用 ダクタイトイル鉄管管路のてびき	T46	2024年11月
下水道用 ダクタイトイル鉄管管路 設計と施工	T30	2024年4月



▲  
データは  
こちら

### 施工要領

資料名	型番	更新日
NS形ダクタイトイル鉄管 接合要領書 呼び径75～450	W12	2024年4月
GX形ダクタイトイル鉄管 接合要領書 呼び径75～450	W16	2025年2月
GX形ダクタイトイル鉄管 接合要領書 呼び径500～1000	W23	2025年3月



▲  
データは  
こちら

### 便覧

資料名	型番	更新日
便覧(GX形ダクタイトイル鑄鉄管(呼び径500～1000))抜粋	—	2024年10月



▲  
データは  
こちら

## 展示品・パネル貸し出しのご案内

日本ダクタイル鉄管協会では、水道週間や各種イベント等でご利用できる展示物・パネルをご用意しております。水道管路の耐震化、そこに使用されている耐震管について、説明しやすく理解していただきやすい展示物です。みなさまからはご好評いただいております。イベントでのリピート使用も多くなっています。ぜひお気軽にご相談下さい。このランキングは2024年4月から12月末までの集計となります。

# 2024年度展示品貸出ランキング

## 展示品編

1

手動模型

貸出し 56回



- ・地震が起きた時の、耐震管と一般管の違いを説明しやすい。
- ・便利な宅急便サイズ

サイズ(梱包時)  
W760\*H660\*D350 約 25 キロ

2

GX形φ75  
耐震体験管

貸出し 27回



(説明用パネルと  
イゼル付)

- ・思いっきり引っ張っても抜けない事を体験できる。
- ・地震等で抜けない事を説明しやすい。

サイズ(梱包時)  
W1170\*H600\*D340 約 70 キロ

3

GX形φ150  
カットサンプル

貸出し 23回



- ・GX形φ150の現物を見たり触ったりできる。
- ・継手の構造を見ることが出来る。

サイズ(梱包時)  
W700\*H280\*D260 約 30 キロ

## パネル編

1

耐震継手の特性と  
地震時の挙動

貸出し 48回



4

立体パネルセット  
(一般継手・耐震継手)

貸出し 13回



2

震度7津波・台風・  
豪雨にも耐えた  
ダクタイル鉄管

貸出し 37回



3

力強くしなやかに！  
(GX形吊り上げ)

貸出し 33回



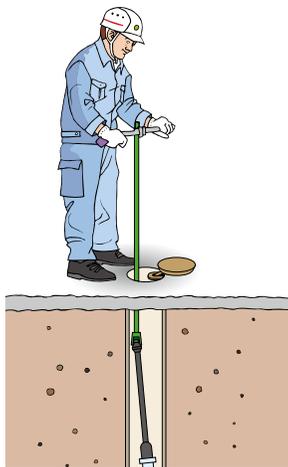
5

地震に強い  
ダクタイル鉄管  
(NS形吊り上げ)

貸出し 12回



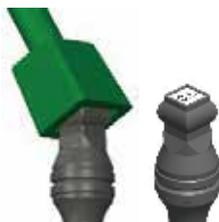
# HINODE



バルブ操作をより確実にする

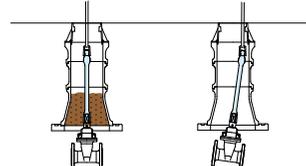
## 傾斜対応継ぎ足し棒 BPR

BPR（ボールポイントロッド）は先端にボールポイント構造を採用。バルブが埋没している場合や傾いている場合でも、緊急時や維持管理の場面において、バルブ操作を確実に且つ容易に行うことができます。



ボールポイント構造

バルブが埋まっても斜めでも、バルブ操作が可能に。



バルブが埋没

バルブが傾斜

日之出水道機器株式会社

本社 / 福岡市博多区堅粕5-8-18(ヒノデビルディング)  
<https://hinodesuido.co.jp>

Tel(092)476-0777

# 繋ぐ、ダクタイル。

社会を繋ぐ。河川を繋ぐ。未来へ繋ぐ。

遠山鐵工所  
オリジナル

## TOHYAMA TIFアダプター

水圧による離脱なし！ 曲げも伸縮も自在！

高水圧に耐える止水性能 土20~40mmの伸縮性能 容易な施工時の取り付け

ダクタイル鑄鉄製高性能フランジアダプター 口径75~2600mm WEBカタログ



株式会社 遠山鐵工所

〒346-0101 埼玉県久喜市菖蒲町昭和18番地(久喜菖蒲工業団地内)  
TEL 0480-85-2111 <https://www.kk-tohyama.co.jp>

# 浄水場・配水池・水処理センターの建設、更新に 丸マークのフランジ形異形管



豊富な管種、安定した品質、確実な納期で九州鑄鉄管の製品は日本全国で活躍しています。

**丸**九州鑄鉄管株式会社

<http://www.kyuchu.co.jp>

本 社：福岡県直方市大字上新入1660-9

TEL 0949-24-1313

東京支店：東京都千代田区内神田2-7-12 第一電建ビル401号

TEL 03-3525-4551

## ホームページで便覧がダウンロード できるようになりました。



そのほか、各種技術資料もダウンロードできます。



(一社) 日本ダクタイル鉄管協会

## 編集後記

- 巻頭言は、「上下水道の耐震対策に向けて」と題して、国土交通省国土技術政策総合研究所の三宮上下水道部長に執筆いただきました。
- 座談会では「能登半島地震の被害について～災害復旧受援支援の今後の課題について～」と題して金沢大学の宮島名誉教授を座長として珠洲市環境建設課の大宮課長、松川課長補佐、眞鍋専門員、支援側から名古屋市上下水道局の根門部長、多和田北部管路センター長の6名の方々に議論いただきました。能登半島地震からは1年以上が経過しましたが、あらためて宮島先生からは能登半島地震は、30年前の兵庫県南部地震の揺れの9倍であることを強調され、またライフライン復旧隊(仮称)のご提案をいただきました。元旦の午後4時に発災したにも関わらず、名古屋市からは約3時間後の午後7時30分には石川県に向けて先遣調査隊が派遣されました。名古屋市では2004年の中部地震の際の教訓を踏まえて、4月の年度初めに災害時の先遣調査隊、応急給水・応急復旧を行う職員(約10名)を登録制とされており、初動体制を強化されています。その先遣調査隊で派遣された眞鍋様は現在(令和7年3月時点)も珠洲市に中長期の派遣職員として従事されています。被災地の立場で大宮課長、松川課長補佐からも貴重なご意見をいただきました。
- 「この人に聞く」では、会津若松市の小林上下水道事業管理者にインタビューしました。無口で物静かで目立たない存在であると管理者は謙虚に話されていましたが、次世代に期待することをお聞きした時には熱い想いを語られました。また、お父様とお祖父様から「事にあたるには、真摯に誠実であれ」の精神を教えられたとの言葉通り、インタビュー中も真面目で誠実な人柄を感じることができました。
- 技術レポートは3本、開発に伴う新設工事やバックアップ機能の強化を図るループ化等のレポートとなっています。多くの上下水道事業体で、老朽管の更新は喫緊の課題となっていますので、ぜひご一読ください。
- 事業体だよりでは、10の事業体から様々な取り組みの原稿執筆をいただきました。他事業体にも参考にできる広報PRも数多くあるかと思われしますので、参考にいただければ幸いです。

## ダクタイトイル鉄管第116号〈非売品〉

2025年4月15日発行

編集兼発行人 田 村 聡 志

発行所 一般社団法人  
日本ダクタイトイル鉄管協会  
(<https://www.jdpa.gr.jp>)

本部・関東支部	〒102-0074	東京都千代田区九段南4丁目8番9号(日本水道会館)
		電話03(3264)6655(代) FAX03(3264)5075
関西支部	〒542-0081	大阪市中央区南船場4丁目12番12号(ニッセイ心斎橋ウエスト)
		電話06(6245)0401 FAX06(6245)0300
北海道支部	〒060-0002	札幌市中央区北2条西2丁目41番地(札幌2・2ビル)
		電話011(251)8710 FAX011(522)5310
東北支部	〒980-0014	仙台市青葉区本町2丁目5番1号(NL仙台広瀬通ビル)
		電話022(261)0462 FAX022(399)6590
中部支部	〒450-0002	名古屋市市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)
		電話052(561)3075 FAX052(433)8338
中国四国支部	〒730-0032	広島市中区立町2番23号(野村不動産広島ビル8階)
		電話082(545)3596 FAX082(545)3586
九州支部	〒810-0001	福岡市中央区天神2丁目14番2号(福岡証券ビル)
		電話092(771)8928 FAX092(406)2256

# 水をつなぐ、 しあわせをつむぐ

安心できる水と暮らしている人のために、  
その水をつなぐために努力する全ての人と共に、  
日本鑄鉄管は、技術と知識で  
安心できる暮らしと構造を実装します。



## 日本鑄鉄管株式会社

本 社 | 〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル ☎ 03-3546-7675  
久喜工場 | 〒346-0193 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼一番地 ☎ 0480-85-1101  
支 社 | 北海道支社、東北支社、中部支社、九州支社



[www.nichu.co.jp](http://www.nichu.co.jp)

For Earth, For Life  
Kubota

# ON YOUR SIDE

1890年の創業から「食料・水・環境」の課題解決に向けて歩んできたクボタ。  
これからも一步一步、すべての人と心をひとつに、明日へと進み続けます。



株式会社クボタは、大阪・関西万博  
未来社会ショーケースのプラチナパートナーです。  
©Expo 2025

株式会社クボタ